令和８年度 福井県優良工事 奥越土木事務所長表彰受賞者

（五十音順）

工 事 名	河川・路線名	工事場所	事業者・代表者	工事概要	全景写真	評 価 内 容
砂防工事06-05-2101	こたらび谷川	大野市朝日	㈱長﨑組 松田五十六	施工延長　224.4m 補強土壁工　A＝190m^2 側溝工　L＝193.5m コンクリート舗装工　A=980m^2 駒止工　L123.7m		・急傾斜地崩壊危険区域内での施工であることから、掘削法面天端には土砂崩れ検知装置を設置し、法面の異常を早期に検知するとともに、異常発生時には警報音により現場作業員へ迅速に危険を知らせる体制を整えた。また、現場内には簡易雨量計を設置し、降雨量に応じた作業判断や退避判断に活用した。 ・補強土壁工の盛土材料は、土砂の大きさや形状にばらつきがあり、そのままでは均一な盛土施工が難しく、施工性や品質への影響が懸念された。そこで、スケルトンバケットを使用して土砂をふるい分け、大きな土塊や異物を取り除くことで、盛土材料の均一化を図った。これにより、材料を均等に敷き均しやすくなり、盛土の施工性と品質の向上につなげた。
砂防災害復旧工事06-05-4204	野津又川	勝山市野向町北野津又	フジ工業㈱ 三屋　啓乃	護床工　538㎡		・水替時に施工は少量の増水で施工出来なくなるほか、泥水対策のためりスーパーロングバックホウを使用することで護岸上より可能な限り施工し、河床での作業は小さいバックホウ（0.15m3）を使用し水替幅を小さくすることで泥水も軽減できた。 ・河床の形状は日々変化するため、TLSによる三次元点群測量を実施し、三次元設計データを作成、点群データを取得し掘削盛土、盛土材搬入量を決定した。三次元測量による土量計算での施工管理の結果、築山での管理が困難な条件での施工が容易にでき、盛土材搬入量60%少なくできた。土工の施工はICT建機で施工し土工作業日数31%短縮（経験値）及び50%の省力化ができた。
道路災害復旧工事5災4号その2	一般県道上小池勝原線	大野市上打波	㈲和光 奥　修次	復旧延長　72.5m 掘削工　2,300m^3 吹付枠工 472m^2		・施工箇所の下部法面が裸地であり、降雨があると浸食・落石等の危険があるため、延長約70mの防護ネットと植生基材吹付を行い対策を行った。また、掘削時には、地山崩壊がないかを目視で確認できるようパトランプを設置し安全性の向上に努めた。 ・最下部の排水構造物が現場打ち側溝の設計となっていたが、降雪時までに施工が終わらない可能性が出てきた為、二次製品に変更した。その結果、全体工程を降雪時までに完了させることが出来た。